

令和3年度発達障害児者及び家族等支援事業について

1. 概要

事業名 : 発達障害児者及び家族等支援事業

開始年度 : 平成24年度（埼玉県は平成22年度から）

委託先 : 埼玉県自閉症協会

※ 平成30年度より要綱の改正に伴い発達障害者家族支援体制整備事業から名称変更。

【主な事業の内容】

- ①ペアレント・メンターの養成
- ②ペアレント・メンターによる交流・相談会等の実施

2. ペアレント・メンターとは

- ・「メンター」とは「信頼できる相談相手」という意味。
- ・ペアレント・メンターは、発達障害を持つ子どもを育ててきた同じ立場の親が、発達障害の診断を受けたばかりの子どもの親、発達障害児の子育ての疑問・不安を持つ親に対して、傾聴・共感の姿勢をもって話を聞いたり、情報提供を行うなどの支援を行う。
- ・発達障害を持つ子どもの子育てに悩む親たちの精神的な支えとなり、適切な機関へつなぐ役割が期待される。

3. ペアレントメンターによる支援の特徴

- ・同じ発達障害の子どもを育てている親として共感でき、相談する親に寄り添うことができる。
- ・書籍ではなく、経験から得た知識、ホームページには載っていない「口コミ情報」などを相談者に伝えることができる。
- ・専門家ではないため、問題を解決できるとは限らない。
- ・相談する親のお手本ではない。

令和3年度発達障害児者及び家族等支援事業について

4. ペアレント・メンターの養成

【これまでの養成者数】

- ・平成22年度～令和元年度 118人（さいたま市19人）

※令和2年度及び令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、新規養成は中止し、既存のメンターへのフォローアップを強化。

【養成研修（基礎講座）受講資格】

＜受講資格＞

- ①県内在住で発達障害の診断を受けた小学校5年生以上の子どもの親
- ②以下のいずれかの要件を満たし、必要書類を提出された方
 - ・所属する親の会の所属年数が2年以上
 - ・PTAの役員の経験が2年以上
 - ・子どもが特別支援学級に在籍もしくは通級指導教室利用が2年以上
- ③基礎講座の全期間に参加可能な方

令和3年度発達障害児者及び家族等支援事業について

【フォローアップ講座】

今年度は全てZoomを利用したオンライン形式で実施。座学やロールプレイ等の研修を年間を通じて6回実施。

●令和3年度フォローアップ講座内容

- (1) 事業説明（R3.6.30、7.3のうち1日参加）
- (2) 講演（R3.7.18）
 - ・ 埼玉県発達障害総合支援センター 小川晴司 所長
「発達障害のある人が利用できる福祉サービス・制度について」
- (3) 講義（R3.10.24）
 - ・ 社会福祉法人横浜やまびこの里 相談支援部 志賀利一 部長
「二次障害を予防する視点から」
- (4) 講演（R4.3.12）
 - ・ 言語聴覚士 村上 由美 氏
「ことばの悩みについて」
- (5) ペアレントメンター交流会（R4.3.12、3.16のうちどちらかに参加）
 - ・ 事業の中で生じた悩み等を相談し合う場として設定
- (6) 講義と実技（R3.12.12）
 - ・ 上尾中央医療専門学校専門相談員、埼玉県精神保健福祉センター非常勤職員（臨床心理士）
清水 景子 氏（本事業アドバイザー）
「コロナ禍における相談活動で大切なこと」

令和3年度発達障害児者及び家族等支援事業について

5. 公開講座

ペアレント・メンター養成研修の一環として実施している講座を広く一般市民の方にも公開し、発達障害に関する基礎知識を学ぶ場を提供している。

令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

【参考：令和元年度の実施状況】

日 時：令和元年9月8日（日）13:30～15:30

場 所：埼玉県障害者交流センター ホール

演 題：「発達障害を考える～発達精神科の診察室から～」

講 師：原 郁子 氏（横浜市総合リハビリテーションセンター発達精神科医）

参加者：105人

6. ペアレントメンターによる発達障害オンライン講座（交流・相談事業）

- ・ペアレント・メンターの実体験をもとにお話したり、悩みごとの共有を行う発達障害オンライン講座をテーマ別に計10回開催。
- ・すべての事業をZoomを利用したオンライン形式で実施。
- ・従来どおり、総合療育センターひまわり学園や療育センターさくら草等からの紹介のほか、オンライン上での周知として、さいたま市及び埼玉県自閉症協会のホームページやさいたま市広報課のTwitterで記事を掲載した。

令和3年度発達障害児者及び家族等支援事業について

ペアレントメンターによる発達障害オンライン講座

テーマ・内容	話題提供 ＋プチ交流会		交流会	
	開催日	参加人数	開催日	参加人数
発達障害の特性	9月10日（金）	9人	9月24日（金）	5人
ことば	11月4日（木）	12人	11月18日（木）	7人
こだわり	11月30日（火）	13人	12月14日（火）	7人
多動・衝動・不注意	1月13日（木）	13人	1月20日（木）	4人
具体的な支援	2月3日（木）	15人	—	—
新しい生活を前に	2月22日（火）	13人	—	—
合計参加人数	98名			

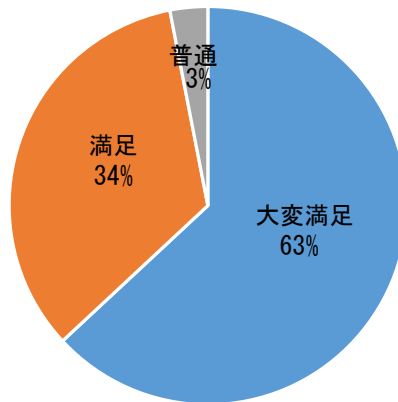
- 「話題提供＋プチ交流会」
→テーマに合わせたペアレントメンターからの経験談、参加者からの質問対応
- 「交流会」
→小グループでの悩みごと共有

※話題提供＋プチ交流会は、埼玉県と合同開催

令和3年度発達障害児者及び家族等支援事業について

ペアレントメンターによる発達障害オンライン講座 参加者アンケート

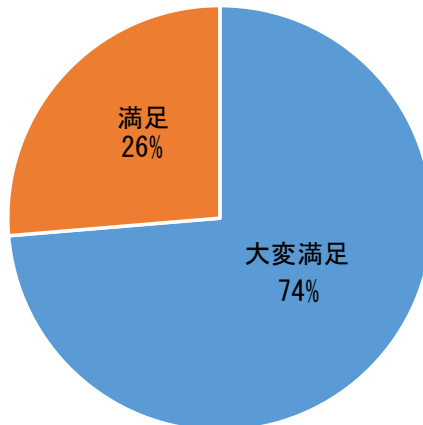
話題提供+プチ交流会（全6回の集計値）



■参加者からの感想■

- ・なかなか周りの人に理解されず、ひとり悩むばかりなので具体的なお話が励みになった。
- ・メンターの皆さんの様にいつか笑顔で話したり、ちょっとグチってみたりの余裕が出来たら良いなと思った。
- ・今回、初めての参加であったが、オンラインは気持ち的にも参加しやすかった。
- ・視覚支援について、うまくいかず断念していたが、子どもの気持ちより親の希望が優先されているためにうまくいかないことに気づくことができた。子どもの視点で考えるということを考慮できるようになった。

交流会（全4回の集計値）



■参加者からの感想■

- ・自分の悩みだけでなく、他の方の悩みを聞くことができた上に、関連する情報も得ることができて良かった。
- ・年齢の近い子どもを育てている保護者の話を聞き、自分と同じ悩みを抱えていることがわかった。メンターも同じような経験をされており、共感や励ましなど優しい言葉をかけていただいたことで、少し心が軽くなった。
- ・今までなかなか発達障害のお子様を持つ先輩保護者にお会いする機会がなく、療育施設などでアドバイスを頂く限りだったが、実際に経験されてきた保護者のお言葉は大変貴重で、温かく、もっとお話を聞かせて頂きたいと思った。